



2025年3月28日

各 位

会社名 株式会社カーリット
(URL : <https://www.carlithd.co.jp>)
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 金子 洋文
(コード番号 4275 東証プライム)
問合せ先 広報・IR推進室長 島田 拓
(TEL : 03-6893-7060)

ジェーシーボトリング、アセプティック製造ライン導入のお知らせ

～ 環境負荷軽減に寄与するペットボトル製品の生産ラインへ改造 ～

株式会社カーリット（代表取締役社長：金子洋文、資本金：2,099 百万円、以下「当社」）の連結子会社であるジェーシーボトリング株式会社（代表取締役社長：中津隆一、資本金：400 百万円、以下「JC ボトリング」）は、同社工場のペットボトル用ホットパック製造ラインの改造工事を行い、アセプティック製造ラインを導入いたしますので、お知らせいたします。なお、本件を含めた中長期的な当社成長計画については同日公開の「中期経営計画 Challenge2027」をご覧ください。

記

(1) JC ボトリングについて

JC ボトリングは、当社 群馬工場（群馬県渋川市）に隣接し、お茶やコーヒーなどの清涼飲料水の製造、販売（ペットボトル、缶）を手掛けています。その生産ラインのひとつである「3号 PET ライン」は、熱（高温）処理によって容器を殺菌する「ホットパックライン」を採用しています。

(2) 生産方式の変更

この度、3号 PET ラインを熱処理による殺菌が不要となる無菌環境下で飲料を充填する方式の「アセプティックライン」へ改造いたします。改造後の新ラインでは、高温の熱処理を行わないためペットボトルの肉厚を抑えることが可能となり、需要の多い軽量ペットボトル飲料が生産可能になります。

【新ライン概要】

名 称：ジェーシーボトリング株式会社 PET ライン（アセプ）
所 在 地：群馬県渋川市
工事期間：2026年4月～10月
稼働開始：2027年1月（予定）
製造品目：小型ペットボトル製品（お茶、コーヒーなど）
投資金額：約40億円

(3) 環境負荷軽減について

アセプティックラインは熱処理を行わない方式により、従来方式より製造時に使用するエネルギーが少なくて済むことから、年間で約 3,000t-CO₂ (Scope1,2) の CO₂削減が見込まれます。ペットボトル容器自体も一体成型が可能となり工程数の削減、軽量化による容器輸送時の CO₂削減 (Scope3) も見込まれ、当社グループが目指すカーボンニュートラルの実現に大きく寄与する設備投資です。

当社グループは今後も事業活動の効率化を図りながら、サステナビリティ基本方針「経営理念《信頼と限りなき挑戦》の下、モノづくりやサービスの提供を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。」に則り、持続可能な社会の実現を目指し、諸活動を推進してまいります。

以上

ジェーシーボトリング工場全景

